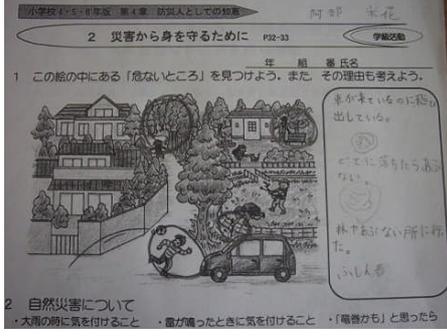
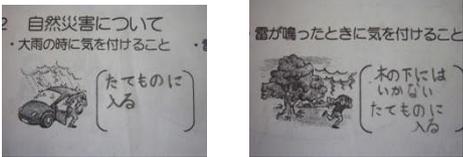
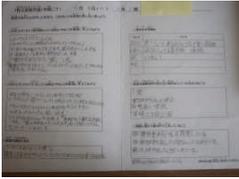


主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>1 絵の中の危険個所を挙げる。</p> <p>この絵の中にある、「危ないところ」を見つけよう。また、その理由も考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路で、ボール遊びをしない。車がきているから危険。 ・暗い道や人通りの少ない道は危険。 ・物陰に悪い人がいそうだから気をつける。 <p>2 自然災害について話し合う。</p> <p>大雨の時に気を付けること。 雷が鳴った時に気を付けること 「竜巻かも」と思ったら。</p> <p>急いで家に帰る。 建物の中へ入る。雨宿りをする。 木の下にいない。建物の中に入る。 安全で丈夫な建物の中に入る。 風が吹いてくる方向へ逃げない。</p> <p>いずれの場合も、頑丈な建物に入りましょう。</p>	<p>・ワークシートの絵に印をし、ペアで話し合う。</p>   <p>児童からの質問</p> <p>キャンプに行っているときは？ 車で崖や川の近くから遠ざかる。 学校の中庭に高い木があるが雷は落ちないか心配 窓から見える校舎の屋上に避雷針があるから大丈夫。</p>
<p>3 「防災家族会議」を開こう・危険なところ安全なところチェックカードの記入の仕方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとの地図を持ってチェックする。 ・社会の学習で確認した「一時避難所」になっている公園などを確かめる。 ・子どもだけで留守番をしているとき、どうすればよいかきちんと話し合っておく。 <p>3.11の担任の体験談：学校の児童最優先のため、自分の家には帰れず、先生の子供は、前から約束していた友達の家にお世話になった。</p>	<p>* 引渡訓練後、下校しながら保護者と一緒にチェックをする。</p>   <p>* このチェックカードを使用して、9月に縦割り防災集会を開きました。</p>